

## 協議事項説明書

### 資料2 令和元年度事業報告について

昨年度は2回の協議会を実施しております。

第1回協議会では、令和元年度の事業計画と帯広市地域公共交通網形成計画（以下、「網形成計画」とする。）に基づく事業について協議・確認いたしました。

第2回協議会では、市の組織再編による所管課変更に基づく規約変更について書面にて協議、承認をいただいております。

その他、本協議会実施事業として、令和2年2～3月に中高生、転入者及び高齢者に向けてバス利用の動機付けを目的としたモビリティ・マネジメント小冊子の作成・配布を行いました。

### 資料3 令和元年度収支決算について

令和元年度の収入決算額については、負担金が66,000円、前年度の繰越金が28,775円、計94,775円となっております。

支出決算額については小冊子作成のための用紙及び作成用消耗品の購入費が76,315円、口座振込手数料が550円、計76,865円となっております。

収入決算額94,775円から支出決算額76,865円を差し引いた残額17,910円が令和2年度繰越金となっております。

### 資料5 令和元年度 帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施状況

資料5は、令和元年度の網形成計画に基づく施策の実施状況について記載しているものです。

計画では4つの基本方針を掲げており、それぞれに目標達成のための施策が設けられています。

「基本方針1 公共交通のサービスレベル向上」については、上士幌線など9路線で路線・ダイヤの見直しや便数の適正化が行われたほか、窓口のキャッシュレス決済対応などにより利便性向上が図られました。

「基本方針2 生活と交通の拠点の整備」については、市内西地区における乗り継ぎ拠点の設置に向けてMEGA ドン・キホーテ西帯広店との協議及び駐車場内へのバス乗り入れの現地検証が行われたほか、市内農村部におけるデマンド型

交通「あいのりタクシー・バス」の利用促進を図るため、地域の会合において PR と意見交換を実施しています。

「基本方針 3 市民だけでなく、来街者にもわかりやすい情報提供の実施」については、「GoogleMap」や「ジョルダン」などの大手路線検索システムへの対応を行い、さらに都市間バス・空港連絡バスについても表示されるようにするなど内容拡充に取り組んだほか、多言語に対応した時刻表の掲示、翻訳アプリを活用した案内などを実施しています。

「基本方針 4 利用促進施策の推進」についてはバス利用の動機付けを図るモビリティ・マネジメント小冊子の配布や「交通環境学習」の出前講座を継続して実施しました。

## 資料 6 帯広市地域公共交通網形成計画 評価指標達成状況について

資料 6 は、網形成計画の評価指標の達成状況について示したものです。

(1) 路線バス利用者数については、新型コロナウイルスの影響により 3 月の利用者は大幅に減少したものの、2 月以前の利用が堅調だったことから、目標値を上回る結果となっています。

(2) 公共交通での通学者数については、平成 30 年度に比べ若干低い水準で推移していたところ、さらに新型コロナウイルスによる市内高等学校の休校を受け、目標値を大きく下回りました。

(3) デマンド型交通利用者数については、新型コロナウイルスの影響に加え、あいのりタクシー・バスの導入当初から継続して利用していた利用客が高齢による身体機能低下により利用できなくなったことや、新規の利用者数の伸び悩みが、目標値を下回った要因と考えられます。

(4) バスパック年間利用者については、NHK 連続ドラマ「なつぞら」効果を活かした販促活動により、目標値を大きく上回る結果となっています。

(6) 高齢者の路線バス利用者数については、(1) と同様の理由により、3 月の利用者数が大幅に減少したことから、目標値をわずかに下回る結果となりました。

(7) ノーカーデー年間参加者については、行政や事業者の PR により、目標値を上回っております。

また、訪日外国人の路線バス利用に関する参考数値としている、外国人観光客向け VISIT TOKACHI PASS 販売件数についても、2 月以前までは平成 30 年度を上回っていたものの、3 月の売上実績が 7 件と極端に落ち込んだことから、最終的に平成 30 年度に比べ減少しています。

以上、令和元年度は新型コロナウイルスが評価指標の実績値を大きく押し下げる要因となっており、令和2年度以降は路線バスの利用回復に向けて交通事業者、行政など関係機関が連携しながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分配慮しつつ、多くの市民に公共交通を利用してもらえるよう、様々な取組を検討・実施してまいります。

#### **資料7 帯広市地域公共交通網形成計画 事業スケジュール・進捗状況一覧表**

資料7は、計画に係る事業スケジュールと進捗状況の一覧を示しており、黄色の網掛けのものは事業が完了しているもの、緑色の網掛けのものは事業内容の改善を図りながら継続実施していくものを表しています。

記載のとおり、継続実施としている各種事業を着実に進めながら、キャッシュレス決済のさらなる拡充や、市街地における新たなデマンド型交通の導入検討などの取組を進めてまいります。

#### **資料8 令和2年度事業計画（案）について**

令和元年度に引き続き、市民のバス利用促進を目的として、市内の中高生や高齢者、市内への転入者を対象とした小冊子の作成・配布を予定しているほか、新たな地域公共交通計画の策定に向けた検討を進めてまいります。

#### **資料9 令和2年度収支予算書（案）について**

令和2年度の収入予算額は、負担金 70,000 円、前年度繰越金 17,910 円、計 87,910 円を計上しております。

支出予算額は、事業費について、バス利用の動機付けを図るモビリティ・マネジメント小冊子作成用紙及び資材等の購入費として 80,000 円、事務費について、消耗品費及び振込手数料として 7,910 円、計 87,910 円を計上しております。

#### **資料10 令和2年度 帯広市地域公共交通網形成計画に係る施策の実施状況**

資料10は、令和2年度の網形成計画に基づく施策の実施案を記載しています。

「基本方針1 公共交通のサービスレベル向上」については、記載のとおりダイヤ改正のほか、バスロケーションシステムと連動したデジタルサイネージ

の設置及びバスターミナルおびくる内のデジタルサイネージのリニューアルや、路線バス車両のQRコード決済対応などについて実施・検討を予定しており、一部については既に実施済みとなっています。

「基本方針2 生活と交通の拠点の整備」については、十勝バス様においてMEGA ドン・キホーテ西帯広店の乗継拠点化について引き続き協議・検討を行うほか、大空団地エリアでの新しいデマンド型交通の試験運行などを予定しています。また、拓殖バス様において、商業施設や学校が集積する地区等における乗継利便性の向上に向けた待合環境整備などについて検討を予定しています。

「基本方針3 市民だけでなく、来街者にも分かりやすい情報提供の実施」については、Google マップ等において運休・遅延情報などをリアルタイムで確認できるオープンデータ（GTFS リアルタイム）作成のほか、バス停留所の路線・時刻表の改善や多言語化や、観光客のみならず地元住民が利用できる新たな乗車券の検討などの取組を進めます。

「基本方針4 利用促進施策の推進」については、引き続き、出前講座の実施や、モビリティ・マネジメント小冊子の作成、配布を通じた利用促進を実施します。実施にあたっては、作成した冊子案を委員の皆様にご確認いただき、ご意見・ご提案などいただきたいと思いますと考えております。